

詩(うた)と物語でつづる 中部地域の国づくり

土木が行う国づくり、地域づくりは、その根底において詩と通じています。私心なく、社会に奉仕し、地域の人々の心の安らぎを目指しているのが土木技術者の志であり、そのような営みから形成された地域の風情を言葉にするのが詩であるからです。また、詩を曲にして情感を表現すれば、地域に住む人々の心の中にしみこんで郷土愛をはぐくむからです。本行事では、中部地域における地域づくりに関する講演と郷土にゆかりの深い音楽を通じて、中部地域の「郷土の心」をお楽しみください。

日時

平成28年5月20日(金) 14時30分～16時35分

会場

ホテルメルパルク名古屋 1階「輝」

【住所】愛知県名古屋市東区葵3-16-16

【TEL】052-937-3535(代)

<http://www.mielparque.jp/nagoya/>

参加費
無料

プログラム

14時30分～15時30分 特別講演

「中部地方の山、河、道、港が奏でるハーモニー」

15時45分～16時35分 音楽会

「郷土の詩人、作曲家、島崎藤村、中山晋平を中心とする詩歌」

・島崎藤村 「千曲川旅情のうた(小諸なる古城のほとり)」
「ヤシの実」

・中山晋平 「波浮の港」「砂山」

他



国土交通省中部地方整備局
企画部長 森山 誠二



ソプラノ 二宮望実



ピアノ 野島恵美

【講演者、演奏者プロフィール】



■国土交通省中部地方整備局企画部長
森山 誠二 Seiji Moriyama

昭和 37 年、岡山県生まれ。昭和 61 年 3 月 東京大学工学部卒業。同年 4 月、建設省に入省。その後、中国地方建設局道路部、道路局企画課長補佐、総合政策局調整課調整官、道路局ITS推進室企画専門官、内閣官房再チャレンジ室企画官、福岡国道事務所長、静岡県理事、副知事などを歴任し、平成 26 年 4 月より現職



■二宮 望実 Nozomi Ninomiya (ソプラノ)

4 歳よりピアノ、10 歳より声楽を始める。東京女学館中学校、高等学校、桐朋学園音楽大学声楽科を経て桐朋学園大学 研究科 3 年次修了。その後単身イタリアに 5 年半留学。ヴェローナ国立音楽院を経て 2012 年パルマ国立音楽院を卒業。その間イタリアドイツで数々のオペラ、コンサートに出演。近年記憶に新しい活躍は「魔笛」パミーナ役、「ツァイーデ」タイトルロール、みなとみらい大ホールにてエメラルドフィルオーケストラと共演、白寿ホールにてリサイタルなどがあげられる。第 13 回ブルクハルト国際音楽コンクール声楽部門第 1 位。日本声楽家協会アカデミー会員。オリジナルソング「Lu tempu assa 時は過ぎゆく」シングル CD 発売中。
オフィシャルウェブサイト <http://nozomininomiya.com/>



■野島 恵美 Emi Nojima(ピアノ)

四日市市出身。桐朋学園大学ピアノ専攻卒業、同大学研究科修了。三重県器楽コンクール第 1 位、全日本学生音楽コンクール入賞他受賞歴多数。これまで桐朋アカデミーオーケストラ、セントラル愛知交響楽団と共演、室内楽でポーランド国立放送交響楽団メンバーと共演した他、めぐろアートウィークに東京目黒で活躍する若手音楽家として出演するなど、活発な演奏活動を展開。「技術の確かさが丁寧な音楽造りに結びついている印象である。楽しみな逸材である。」(音楽の友 2011 年 4 月号) など、関係各誌で高い評価を得ている。演奏活動に加え、MBA、中小企業診断士として「音楽家のしごと塾」を主宰。社会における音楽家の活躍フィールドを広げるべく、音楽家をビジネス面から支援する取組を進めている。オフィシャルウェブサイト <http://www.ongakuka.jp/>